

草津白根山

○概況(平成 16 年 10 月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動に大きな変化はなく、火山性微動は観測されませんでした。

火山活動によるとみられる地殻変動は観測されませんでした。

○地震活動及び微動の発生状況

地震活動に大きな変化はなく、火山性微動は観測されませんでした。

(表 1、図 1)。

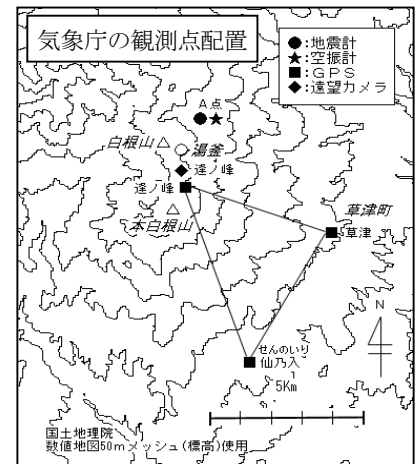


表 1 草津白根山 火山性地震日別回数表

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計		
	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3		
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計		
	1	1	1	0	0	0	0	3	1	0	7		
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	6	16

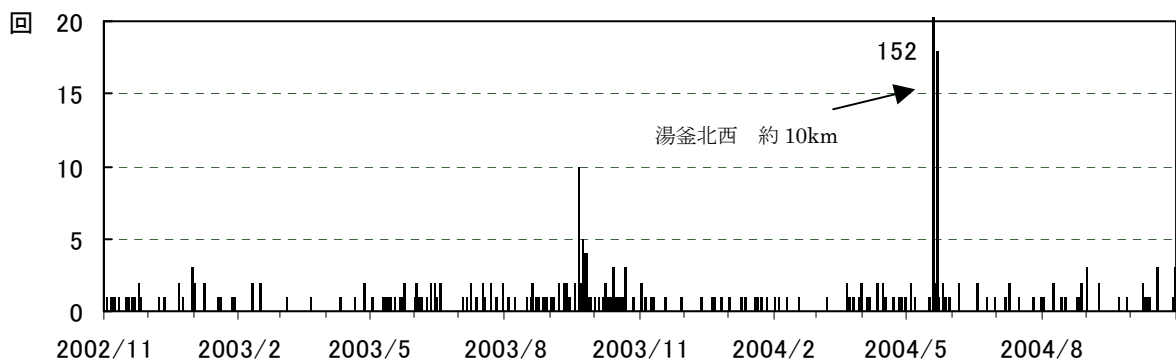


図 1 草津白根山 火山性地震日別回数 (2002 年 11 月 1 日～2004 年 10 月 31 日)

○噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

○地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした (図 2)。

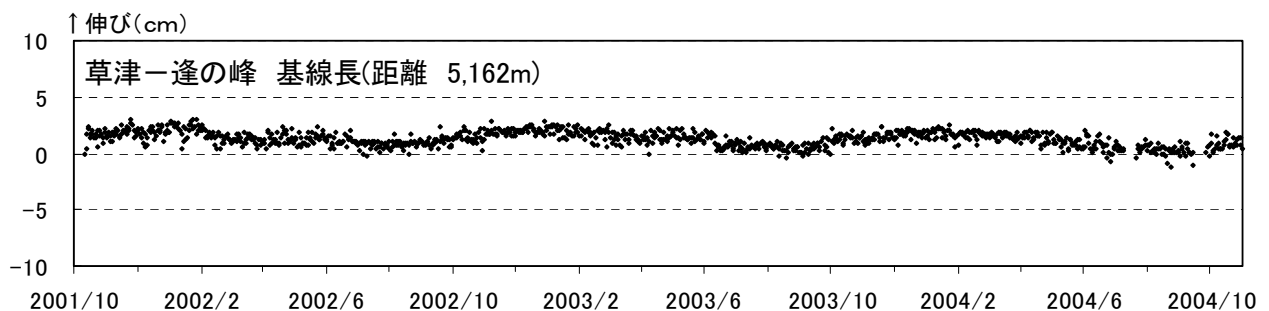


図 2 草津白根山 GPS観測結果(基線長変化) (2001 年 10 月 1 日～2004 年 10 月 31 日)

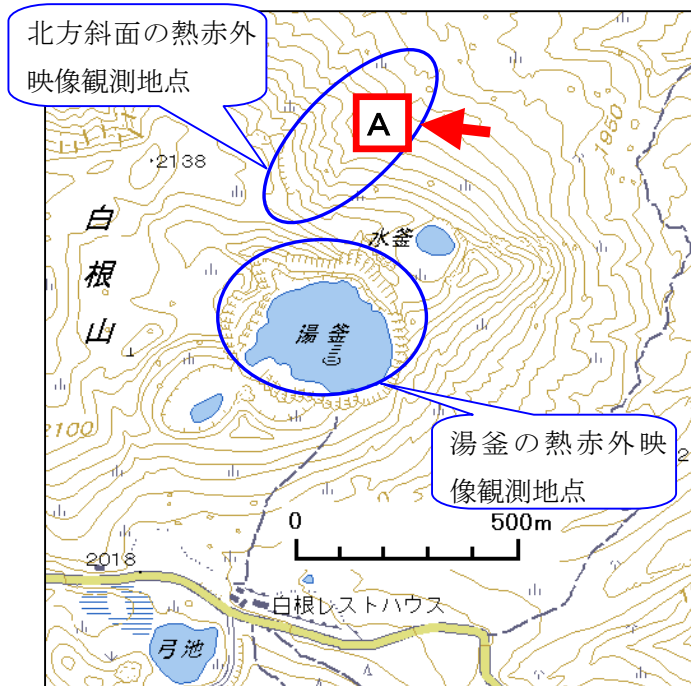
その他の基線でも火山活動によるとみられる変化は観測されていない。

○調査観測の結果

10月13日に湯釜北方斜面地帯（図3のA）において、サーミスタ温度計を使用した噴気温度観測を実施しました。最高温度を示す噴気孔の温度は120℃で、前回（2004年6月）の115℃に較べやや高い値となっています。この温度は2002年以降上昇の傾向を示しており（図5）、引き続き今後の推移を見守る必要があります。

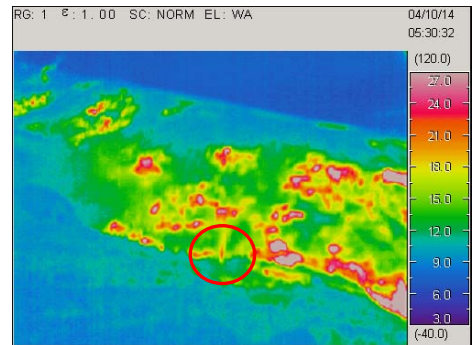
北方斜面（14日）、湯釜（15日）で実施した熱赤外映像装置による観測では、地温及び湖水面の温度分布に特段の変化は見られませんでした（図4）。

湯釜湖面には通常見られるような硫黄の浮遊物が確認されましたが、異常は確認されませんでした。また、硫黄以外の浮遊物は確認されませんでした。



- A : 噴気温度観測点
- : 熱赤外映像観測領域
- ← : 北方斜面の熱赤外映像観測の方向

図3 草津白根山 温度観測地点



- 上: 熱赤外映像 下: 実画像
- は最高温度を示す噴気孔の位置

図4 草津白根山 北方斜面の地表面温度観測

上: 熱赤外映像装置による温度分布（撮影は早朝）
 下: 上図とほぼ同じ範囲の可視画像（撮影は日中）
 （いずれも2004年10月14日撮影）

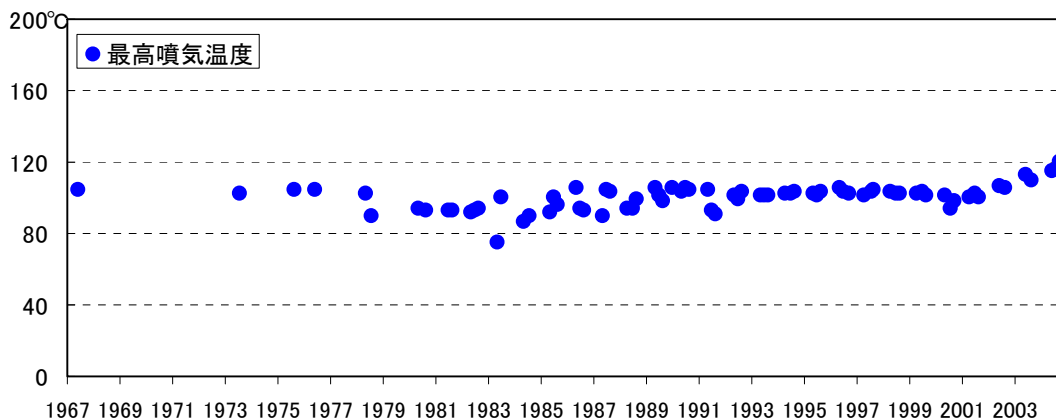


図5 草津白根山 北方斜面最高噴気孔温度